

第147回 仏教公開講座

年間テーマ

生きるって ということ

サブテーマ (教区テーマ)

まなこ
『眼をひらく』
こころ
『心をひらく』

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

日 時	2016年9月20日(火) 午後6時半より		
講 師	戸次 公正 (べっき こうしょう)氏 (真宗大谷派大阪教区南溟寺住職)		
講 題	「念仏して往生をねがうしるし・世をいとうしるし」		
日 程	午後6時30分	真宗宗歌・正信偈 (同朋奉讃式)	
	6時45分	講 義	
	8時15分	質問の時間	
	8時30分	恩徳讃	

講師紹介 1948年大阪生まれ。大谷大学大学院修士課程終了。真宗大谷派南溟寺住職。相愛大学非常勤講師。

著 書 『意味不明でありがたいのか—お経は日本語で』(祥伝社)
『親鸞の詩が聞こえる—エッセンス・正信偈』(東本願寺出版)

先生からのメッセージ

これ(講題)は親鸞聖人のお手紙に出てくるお言葉です。

それは明法坊(かつて聖人を殺害しようとした山伏弁円)が往生したという報せへのお返事のなかにあります。

その意(こころ)を訪ね、念仏する者の「しるし」をたしかめ、戦争と暴力と格差にせめぎあう現代の課題に対する「世をいとう(厭う)しるし」を明らかにしてゆきたいことです。

いつでも・どこからでも聞ける「テレホン法話」、お電話ください。Tel.058-265-0033